

特定非営利活動法人 野生動物救護の会 会報



# RUNNER

Vol.36



## 目次

活動の現場 …2

令和2年度 羽根標本グループ活動報告 …4

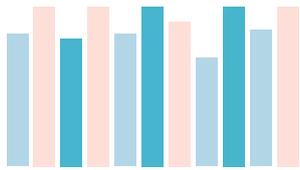
～ On your side ～

コロナ禍でも人間だけの地球ではない  
全ての物たちに想いを馳せて …5

足輪プロジェクト …6

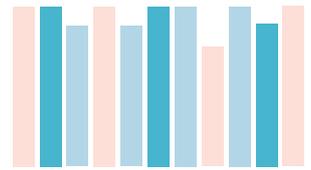
2020年度事業報告・  
2021年度事業予定（案） …… 7

インフォメーション …10



# 活動の現場

このコーナーでは普及啓発活動やイベントなどに参加したボランティアがその体験をもとにレポートしています。



## 特定非営利活動法人 野生動物救護の会 第13回定期総会の報告

今年度の総会が2020年7月12日、厚木市社会福祉協議会ボランティアセンター、4階研修室にて午後13時30分から開催されました。議長に会員の遠藤さんが選出され総会が進行されました。出席者と委任状の方を合わせて会員総数の60名より過半数となり総会は成立しました。

議事に入り、2019年度の事業報告、決算報告及び会計監査の報告、それに2020年度の事業予定などが提案され、満場一致で承認されました。また野生動物救護の会の役員は改選なしで昨年度に引き続き務めてもらうことになりました。

H



## 第6回 野生動物痕跡調査講習会の報告

令和2年11月21日(土)に野外での野生動物痕跡調査講習会を痕跡調査チームが実施しました。麻布大学の野生動物関係のサークルに呼びかけたところ、12名の学生が参加してくれました。今回の講習会では、自動撮影カメラを設置して野生動物を撮影してみようというテーマに沿って、カメラの設置場所を決める手掛かりになる野生動物の痕跡の見分け方、自動撮影カメラの特徴や設定方法を説明し、実際に自動撮影カメラを設定して野外に設置するところまでを参加者と一緒に行いました。けもの道や動物の足あとを手掛かりにして狙い通りに野生動物が撮影できる場所を1時間ほど探して、自動撮影カメラを設置することができました。最後に野外飼育ケージの前で自然環境保全センターの鵜飼獣医師が、神奈川県野生動物救護事業について野生動物を治療する獣医師の仕事の話を交えながら大学生たちに説明してくれました。

このイベントは神奈川県の「もり・みず市民事業支援補助金」の助成を受けて、新型コロナウイルス感染防止対策を行って実施しました。

遠藤順一



## ブナの森ギャラリー展示の報告

神奈川県自然環境保全センター 2F ブナの森ギャラリーにおいて野生動物救護の会が展示しています。

タイトルは「NPO法人 野生動物救護の会 活動の紹介」

- ①巣箱チーム 谷戸にかけた巣箱の利用状況など
- ②痕跡チーム 自動動画撮影に「何」が撮影されている!? 実際の動画も見られます。
- ③もり・みずチーム 正確には「もり・みず市民 事業支援補助金」の環境教育部の活動紹介

12月24日（木）まで展示中です～時間のある方も（ない方も!!）ぜひ見て下さい。

※活動に興味のある方～事務局まで連絡下さい。お待ちしております。

SANO



## 大掃除の報告

12月13日、風もなく穏やかなお天気の中、センターの大掃除が開催されました。3密を避けるなどコロナ禍ならではの注意を受けてからの大掃除スタート！ブラインド、エアコン、外に立て掛けてある木材の移動などなど、普段の作業では手がまわりにくいところを重点的にきれいにしました。風があるとやってもやってもきりがないと思う落ち葉掃きは、今回は風がなかったのでやりがいのある結果となりました。

そして待望のお昼！いつもならボランティアさんの作る豚汁などをお腹いっぱい食べるのですが、今年はコロナで残念ながら中止となりましたので、お茶とお弁当が配られました。その他にもボランティアさんからのお菓子やみかんの差し入れをいただきました。感染予防で換気や密にならないように気を配りつつ、話しながら花を咲かせ楽しい時間を過ごし、今年の大掃除は無事終了しました。参加された皆様、本当にお疲れ様でした。

ヒラヌマ



# 令和2年度 羽根標本グループ活動報告

振り返れば2019年の12月ごろから中国大陸で謎の肺炎が流行っているというニュースを耳にするようになりました。当初は“対岸の火事”よろしく呑気に傍観していましたが、ダイヤモンドプリンセス号の横浜入港から今日まで、あれよあれよという間に仕事やプライベート、救護の会のボランティア活動まで新型コロナウイルスによる感染症の影響を強く受けることになってしまいました\*1。

神奈川県自然環境保全センターの傷病鳥獣救護事業も御多分に漏れず、神奈川県の緊急事態宣言(令和2年4月7日から5月31日)を受けて令和2年度のスタート時点では傷病鳥獣の受け入れをストップしていました。その後、6月から再開しましたが救護ボランティアの参加人数を2名までに制限することになり、この措置は現在も続いています\*2。

当然、羽根標本製作などのボランティア活動は自粛することになり、令和2年度の羽根標本製作実績はひとつもありません(表1)。令和3年2月にセンターの主催する自然発見クラブで羽根標本教室を開催する予定でしたが、これも中止となりました。しかし、傷病鳥獣の救護活動と私たちが制作した羽根標本の紹介をするための冊子作りは継続して行い、完成させることができました(図1)。

表1 令和2年度に作成した標本データ。骨格標本のみ2件。

和名	学名	保護日	保護場所	備考
アカエリヒレアシシギ	Phalaropus lobatus	2018/9/6	茅ヶ崎市	台風の影響で負傷、骨格標本のみ
ヒメアマツバメ	Apus nipalensis	2018/6/3	南足柄市	保護原因は不明、骨格標本のみ

“傷病鳥獣 Injured Birds and Mammals”や“傷病野鳥 (Injured Wild Birds)”という言葉の意味は広辞苑などの辞典を引いてもでてきません\*3。環境用語集(一般財団法人環境イノベーション情報機構)には傷病鳥獣の意味を「怪我や病気を患った野生鳥獣のこと」と書かれていますが、私たち救護ボランティア経験者には馴染みのある傷病鳥獣という言葉も国語辞典に載らないくらい一般の人たちは馴染みがないのだと気付きました。

それなのにあえて冊子の表題に“傷病野鳥 (Injured Wild Birds)”という言葉を採用したのは、人が作った建物や人工物、乗り物などに衝突して負傷した野鳥、本来なら人がきちんと飼養管理すべき外飼いのイエネコや野良猫の襲撃により負傷した野鳥、人の都合で落とされた巣の中のヒナ鳥や幼鳥が、センターのような保護施設に保護されて傷病鳥獣と呼ばれていることを、この冊子を手にした人たちに知ってもらいたいという気持ちがあったからです。

この冊子を作るためにかかった費用は、日頃から野生動物救護の会の活動理念にご賛同下さり、傷病鳥獣の救護活動を応援して下さい下さっている皆さんの会費とサントリー世界愛鳥基金からの助成金によって賄われました。私たち羽根標本グループのメンバーだけでなく多くの人たちの“野鳥への愛”の力で完成した冊子です。できれば多くの人々の目に触れて野生鳥獣や傷病野鳥の保護活動について知るきっかけになってくれれば良いと思います。



図1 冊子の表紙。会員には1冊差し上げる予定です。

\*1 令和2年度は救護ボランティアの研修、保護活動の普及啓発イベント、小学校などでの環境教育の実施などの主要な活動がすべて中止となりました。

\*2 これからのヒナシーズンは人手が足らなくなるか心配です。職員がヒナの世話や治療に専念できるように野外ケージの掃除、食器の片付けなどを手伝える救護ボランティアの方はセンターのHPから申し込みをしてボランティアに参加しましょう。

\*3 広辞苑無料検索 (<https://sakura-paris.org/dict/>)、デジタル大辞泉 (<https://dictionary.goo.ne.jp/jn/>)

～ On your side ～



**コロナ禍でも  
人間だけの地球ではない  
全ての物たちに想いを馳せて**

**ボランティア歴 19年目の伊熊さんがボランティア活動しながら  
日々思うことを文章にしてみました。**

ランナーにコラムを載せて頂くのも久しぶりである。新型コロナというロクでもないウィルスが蔓延したため、人類全てが何らかの我慢や自制を余儀なくされ振り回された昨年の始め辺りからの生活。

反面、今までの日常がどれだけ有り難い物であったか。ただマイナスだけではない部分もあった様だ。必ず1日に何度か目にする道に落ちているマスク、持ち帰り用の呆れる程の量のプラスチックゴミ、エアコンを入れながら換気のための窓の開けっ放しなど環境に良くない対策は数えたらきりが無いが、世界各地では観光客が激減したためにプラスの副産物が多々あったのをご存知の方もいらっしゃるのではなからうか。

海が格段に美しくなりイルカが波打ち際まで遊びに来るというドバイ、信じられない程の青空が広がるロサンゼルス、透明な水になり魚が泳ぐベニスなどSNSに載って来ないだけでそんな場所は沢山あるだろう。それは人間がどれだけ自然や環境を無意識のうちに破壊しねじ曲げて来たかを証明していると思う。しかしそれを喜んでばかりはいられない。そのプラス面の恐らく何万倍もの使い捨てグッズが今でも量産されているのだ。マスク不足で世間がパニックになった時、マスク位自分で作れば？と思ったし持ち帰りにはタッパーとエコバッグを持って行けばプラスチックゴミを出さないで済むのにと冷めた目で見ていた。

確かに未知の新型ウィルスへの恐怖心があまりにも大きかったので無理もなかった。決して責めて言っている訳ではない。これからは最速で世界中の人達にワクチン接種がなされインフルエンザと同等の存在になるまで遠い話ではないというのが医療従事者の見解である。闇雲に恐れず体力作りや健康的な食事、運動など自己管理をしっかり行う。基本はまずそこから。少しゆとりが出て何でもかんでも使い捨てで良いのかという事に疑問を持つ日が1日でも早く来て欲しいと願う。

人類中心に物事を進める時、絶対と言って良い程必ず環境が破壊され動物たちに影響を及ぼす。こんなコロナ禍であっても粗大ゴミ、分別ゴミ、産業廃棄物、汚水や大気汚染、彼らは何一つ出してはいない。そんな自然や動植物を想い、この不遇な時期にあってもグローバルな次元で考え自分に出来る小さな事を実行して行こうと強く思う。これを読んで下さっている皆様、どうぞお身体に気を付けて、無闇に恐れず正しく対策をして参りましょう。そして一緒に乗り切りましょう。これからの環境と動物たちのためにも。

～ On your side コロナ禍でも人間だけの地球ではない全ての物たちに想いを馳せて ～



# 足環Project!!

## 足環プロジェクトとは

足環を付けた放鳥個体が野外で発見もしくは再捕獲等されることでその個体の生存年数、移動範囲・距離などを知る為の活動です。  
詳しくは「RUNNER」vol.16を御覧下さい。

## ～2020年3月から足環を付けて放された鳥たち～

足環番号	種類	放鳥日	放鳥場所	足環番号	種類	放鳥日	放鳥場所
N8	スズガモ	2020/3/12	平塚市	O4	オオタカ	2020/9/28	平塚市
N9	トビ	2020/8/12	相模原市	O5	ツミ	2020/10/26	大和市
O0	トビ	2020/8/31	相模原市	O6	トビ	2020/10/20	愛川町
O1	ゴイサギ	2020/9/16	小田原市	O7	カルガモ	2020/10/20	厚木市
O2	カルガモ	2020/9/16	秦野市	O8	オオタカ	2020/12/24	平塚市
O3	オオタカ	2020/9/28	海老名市				

03 オオタカの目撃情報が届きました。  
12月に3度も大和市ふれあいの森で目撃されたそうです。



03 オオタカ



01 ゴイサギ



02 カルガモ

(写真提供：神奈川県自然環境保全センター)



05 ツミ



★こんな足環をつけた野鳥を見かけたら下記まで連絡してください★

### 【NPO 法人 野生動物救護の会】

Tel : 0463-75-1830 e-mail : wildrelief@kanagawa-choju.sakura.ne.jp

### 【神奈川県自然環境保全センター・自然保護課】

Tel : 046-248-6682

鳥の詳しい情報はこちらに載せています。

(放野の光景を動画で見ることができます)

ブログ URL : <http://blog.goo.ne.jp/yaseidobutsu-kyugo>



# 2020 年度事業報告

## 2021 年度事業予定(案)

今年も 2021 年 4 月より新しい年度がスタートしました。本来であればこのページで昨年度の活発な活動の結果を皆様にご報告するところですが、残念ながら、未だに終息の目処がたないコロナウィルス禍による各種活動の自粛要請に伴い、ほとんどの活動がストップしている状況です。さみしい内容のご報告になってしまいましたが、この状況が少しでも改善されましたら、野生動物のために活動を再開したいと考えております。しかしながらこのような中でも、長年継続して行っている衝突調査、痕跡調査や樹洞性哺乳類・鳥類調査などの調査活動は続け

ております。世間の状況が落ち着いた際には皆様にも参加していただける活動をご用意する予定ですので、是非ご参加・ご協力をよろしく願いいたします。

6 月に予定されている定期総会では、昨年度の総括や今年度の事業内容についてご意見をいただきたく、ここに前年度の活動報告と今年度の活動予定を掲載します。皆さまには是非目を通していただき、ご検討をお願い致します。

このような状況ですので、くれぐれも皆さまご自愛ください。

### 2020 年度 NPO 法人野生動物救護の会 事業報告

#### 1. 傷病鳥獣救護の直接的事業

傷病鳥獣の救護ボランティアの推奨	通年	自然環境保全センター
M プロジェクト (猛禽類のリハビリ)	通年	プロジェクト参加者自宅

#### 2. 救護ボランティアを養成する事業

野生動物救護ボランティア講習会	中止	
野生動物救護ボランティア講習会修了式	中止	

#### 3. 主に会員を対象とした啓発事業

探鳥会	中止	
野生動物痕跡調査講習会	11 月 21 日	自然環境保全センター
スキルアップ勉強会	中止	

#### 4. 主に市民を対象とした啓発事業

企画展示 (ブナの森ギャラリー)	11/5 ~12/24	自然環境保全センター
誤認保護防止のためのチラシ配布	中止	
各種イベントへの参加 よこすか動物フェスティバル、 秦野市民まつり 動物フェスティバル・神奈川 さがみ自然フォーラム その他	中止	
各種要請による講演	要請無	
環境教育 学校からの要請による環境教育 夏休み子ども体験教室 (野生動物を学ぶ) 春休み子ども体験教室 (わくわく生き物探検隊)	要請無 中止 中止	

## 5. 情報発信の事業

会報誌RUNNERの発行		厚木市サポートセンター
ホームページの運営 会員への情報発信	通年	野生動物救護の会事務局

## 6. 調査・観光的な事業

秦野市立図書館衝突調査	4/24、5/29、6/26、 7/31、8/28、9/25、 10/30、11/27、12/25 1/29、2/26、3/26	秦野市立図書館
羽根標本等の標本作成	通年	自然環境保全センター
羽根標本打ち合わせ	9/19 12/19	玉川公民館 自然環境保全センター
樹洞性哺乳類・鳥類調査	通年	自然環境保全センター
野生動物痕跡調査	通年	自然環境保全センター
足環プロジェクト	通年	自然環境保全センター

## 7. 関係団体との協働的事業

丹沢大山ボランティアネットワーク総会	書面開催	
丹沢大山ボランティアネットワーク講演会	中止	
丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会	書面開催	自然環境保全センター
傷病鳥獣保護連絡協議会	オンライン開催	
自然発見クラブ	中止	

## 8. 運営的事業

NPO法人 野生動物救護の会定期総会	7/12	厚木市社会福祉協議会 ボランティアセンター
救護の会の事務的管理（名簿・会費・物品など）	通年	野生動物救護の会事務局
野生動物救護の会の理事会・スタッフ会議	随時	自然環境保全センター
傷病舎大掃除	12/13	自然環境保全センター

## 9. 各種助成金による事業

サントリー世界愛鳥基金による事業		
ボランティア団体活動助成金による事業		
もり・みず助成金による事業 普及啓発・調査		

# 2021年度 NPO 法人野生動物救護の会 事業予定(案)

## 1. 傷病鳥獣救護の直接的事業

傷病鳥獣の救護ボランティアの推奨	通年	自然環境保全センター
Mプロジェクト（猛禽類のリハビリ）	通年	プロジェクト参加者自宅

## 2. 救護ボランティアを養成する事業

野生動物救護ボランティア講習会	検討中	自然環境保全センター
野生動物救護ボランティア講習会修了式	検討中	自然環境保全センター

## 3. 主に会員を対象とした啓発事業

探鳥会	年数回	近隣各所
野生動物痕跡調査講習会	年数回	自然環境保全センター

## 4. 主に市民を対象とした啓発事業

企画展示（ブナの森ギャラリー）	10～11月	自然環境保全センター
各種イベントへの参加 あつぎ環境フェア その他	10/17 随時要請あれば	厚木中央公園 各イベント会場
環境教育 学校からの要請による環境教育	随時	各学校

## 5. 情報発信的事业

会報誌RUNNERの発行	年数回	厚木市サポートセンター
ホームページの運営 会員への情報発信	通年	野生動物救護の会事務局

## 6. 調査・観光的な事業

秦野市立図書館衝突調査	月1回程度	秦野市立図書館
羽根標本等の標本作成	年数回	自然環境保全センター
樹洞性哺乳類・鳥類調査	通年	自然環境保全センター
野生動物痕跡調査	通年	自然環境保全センター
足環プロジェクト	通年	自然環境保全センター

## 7. 関係団体との協働的事业

丹沢大山ボランティアネットワーク総会	書面開催	自然環境保全センター
丹沢大山ボランティアネットワーク講演会		自然環境保全センター
丹沢大山ボランティアネットワーク世話人会		自然環境保全センター
傷病鳥獣保護連絡協議会		

## 8. 運営的事业

NPO法人 野生動物救護の会定期総会	6月予定	
救護の会の事務的管理（名簿・会費・物品など）	通年	野生動物救護の会事務局
野生動物救護の会の理事会・スタッフ会議	随時	自然環境保全センター
傷病舎大掃除	12月	自然環境保全センター

## 9. 各種助成金による事業

もり・みず助成金による事業 調査		
------------------	--	--

# インフォメーション

## 定期総会・報告会

### ◆第14回 NPO 法人 野生動物救護の会 定期総会

▽日時: 6月13日(日) 12:50~受付 13:00~総会  
▽場所: 神奈川県自然環境保全センター 本館前

## ボランティア講習会

### ◆神奈川県 野生動物救護ボランティア講習会

▽日時: 検討中  
▽場所: 自然環境保全センター レクチャールーム

## イベント・企画展示

### ◆厚木環境フェア

▽日時: 10月17日(日)   ▽場所: 厚木中央公園  
☆環境活動に取り組む市民団体、事業者、行政等が出展し活動を紹介するイベントです。

### ◆ブナの森展示

▽日時: 10月~11月   ▽場所: 自然環境保全センター2階ブナの森ギャラリー

【例年、行われているイベント等は現時点では未定です。今後、開催及び救護の会の参加が決定しましたら都度お知らせいたしますので、ホームページ等でご確認ください。】

## 衝突調査

### ◆秦野市立図書館衝突調査

▽日時 毎月最終金曜日 →今後の調査日は2021年5月28日、6月25日、7月30日  
▽場所 秦野市立図書館  
☆野生動物救護の会「バードストライク研究会」では窓ガラスへの野鳥の衝突調査と一緒に  
行ってくれる方を随時募集しています。興味のある方は事務局までご連絡を！

## “救護の会 ブログ” 始まっています！

### ◆野生動物救護の会の活動の様子を楽しくご紹介！

日常のボランティア活動や、猛禽類の訓練風景(M project)、各種イベントのお知らせや報告などなど、随時更新しています。救護の会 HP トップページ  
「救護の会ブログ始めました！」のバナーをクリックしてご覧下さい♪  
アドレスはコチラ→ <http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/index.html>



\* 詳細は当会ホームページをご覧ください \*

### ☆☆会員へのお誘い☆☆

当会は、設立趣旨にご賛同頂きました皆様方の会費によって運営されております。

**どなたでもご参加いただけます**   ★一般会員: 年会費 2,000 円  
★学生会員: 年会費 1,000 円

**私たちの活動を支えて下さる賛助会員も同時に募集しています**

★賛助会員: 年会費 法人一口 5,000 円/個人一口 3,000 円 一口以上

【振込先】

ゆうちょ銀行振替口座 : 00270-0-47040

名義 : 特定非営利活動法人 野生動物救護の会

発行月: 2021年5月   発行: 特定非営利活動法人 野生動物救護の会   電話: 0463-75-1830  
〒259-1306 神奈川県秦野市戸川 1086 番地の 4   ホームページ: <http://kanagawa-choju.sakura.ne.jp/>  
編集者 平沼亜矢子 神崎さつき 森紀美子